



# 中沢かつゆき 通 信

## 自民党鎌倉市会議員

<http://www.nakazawa.jimusho.jp>



自由民主党



自民党鎌倉市連合支部幹事長

市政に関するご要望、皆さまの声をお聞かせください！

## 12月議会

10月から、議会閉会中に総務常任委員会協議会を開会して審議を進めてきた、「自治体運営型通販サイト運営事業」が、答弁できずに事業断念となりました。鎌倉市は、納税義務のない「免税」。消費税の申告もありません。下水道事業だけは、鎌倉市も消費税申告・納税を行っています。自治体同士の契約では、当然消費税課税はありません。民法上の任意団体は、出資比率に応じて「パススルー」としてそれぞれの構成員が納税します。鎌倉市の「自治体運営型通販サイト運営事業」では、構成員に自治体が入っています。自治体間の契約は非課税なので、当然自治体出資比率分の消費税額を差し引き支払うこととなりますが、その消費税額が2か月

経っても明らかにされず、事業断念という判断となりました。消費税は、「広く平等」に課税され、「非課税」について特例を設けています。鎌倉市が「免税」であるということを再認識し、契約において消費税額の取り扱いを、今後注視するようになっています。これ以外にも、市長指示の1社随契が目立ち、「公契約」の在り方を、再度確認しました。

議会前、石巻市の大川小学校に行きました。何度も訪れていますが、学校の防災ということを改めて思い、津波被害が想定される鎌倉市でも、訓練、ハード整備など課題を早急に解決していく必要を痛感しています。

## 公契約

「公契約」は、入札が原則となっています。しかし、「特別」な契約に関しては、「随契」を認めています。代替製品がない場合や、契約先しか取り扱うことができないメンテナンスなどは、随契で契約することが最適です。鎌倉市が行おうとした「自治体運営型通販サイト運営事業」では、本来の所管部に市長が指示して検討。取り扱いと随契は無理であると判断。しかし、政策創造担当部に市長が指示するとすぐに、新規事業者であるにもかかわらず「一社随契」というおかしなことになりました。契約を担当する総務部長にこのようなことがあるのか聞きますと、同じ法令に基づき判断していくのでない、という答弁。この事業では、免税事業者である構成員を含む民法上の任意組合との契約において、結局「消費税額」を明

らかにできないまま断念という結果に。鎌倉市が契約に当たっての消費税額を明らかにできないという失態。随契の場合、契約検査課と「随契協議」を行うようになっていますが、これも、形式だけになっています。平成14年に、いわゆる「官製談合防止法」ができ、公務員の関与する談合に厳しくなっています。新規事業者による一社随契では、特に調査して契約すべきところ、「債務超過先」とも一社随契。債務超過先との契約では、事業実施が危ぶまれることから、契約要件に含む契約もあります。これ以外にも、市長指示による「一社随契」がいくつもあり、大きな問題となっています。「公契約」を所管する総務常任委員会として、補正予算を含めて注視していきます。

## 防災

東日本大震災で、児童74名、教職員10名の犠牲者を出した石巻市立大川小学校。何度も訪れていますが、いつも手を合わせながら涙が止まらなくなります。安全なはずの小学校で、地震後「51分」校庭で待機し、なぜ逃げなかったのか、ということが今も明らかになっていません。ご遺族の方のお話も伺いましたが、同じ世代の子を持つ親として、「なぜ」ということしか浮かびません。津波被害が想定される鎌倉市でも、喫緊の課題として取り組まなくてはなりません。市立小中学校では、3.11後避難訓練をそれまでの避難に加え、津波を想定し2次避難、3次避難訓練を行っています。しかし、東日本大震災から2年9か月。訓練も少なくなり防災教育も減っています。もう一度、「防災」について考えていかななくては、という思いです。

鎌倉市では、地形上土砂災害も危惧されます。台風26号で、植木で大きな被害を出しました。市道を挟んで、巨岩が崩落。人家に直撃しました。県

と協議をして、急傾斜地指定と保護工事の早急な対応を要望し、県もその被害を見て、早急に対応することとなりました。防災は、県と国との連携が大切という実例です。

3.11、石巻市の日和幼稚園バスで、園児が被害にあった裁判の判決が出ました。これは、津波が予想されるのに、避難を怠ったと園側の過失を認めた判決です。津波が想定される鎌倉市の海岸部に、材木座保育園と稲瀬川保育園があります。この2園は、平成18年に民営化と新園建設が決まっていますが、今年度中がその期限。しかし、未だに手つかずです。旧鈴木邸跡地に新園建設も、市長は「民間」。新園建設に関しては、9月議会で「別の場所に建設します」と答弁。日和幼稚園の判決を受け、鎌倉市では早急に2保育園を移転させなくてはならないということを確認しました。

## 中沢かつゆきの経歴

### 子供たちの環境

「公教育」は、教育委員会と教師が「子供」の目線で考えていくもの。いじめが、「転校」ということで解決してしまっている中、本当の意味での解決をお願いしました。点数主義ではない「公教育」を鎌倉市では行ってほしいと要望。

頑張って結果を出している子供たち。その子供たちが練習する場所については何度か質問をしてきました。全天候型テニスコートについては、笛田公園か山崎浄化センター上部利用で進めていく、と答弁。ようやく目途がつき始めました。

市政功労賞では、表彰式後の懇親会が今年度からなくなりましたが、明確な理由もないまま。来年度からの再開を要望しました。

学校の受付のクーラー設置については、修繕で対応します、との答弁。

経歴：昭和41年6月生

群馬県立渋川高等学校卒業  
東京電機大学理工学部情報科学科卒業  
スパライズ株式会社代表取締役  
大阪観光大学観光学研究所  
客員研究員  
鎌倉中央ロータリークラブ副会長  
材木座保育園保護者会会長  
にかいどう子どもの家父母会会長  
県議会議員中村省司秘書  
著書「安全な温泉・あぶない温泉」  
(草思社刊)  
鎌倉市議2期 総務常任委員長  
二階堂在住  
事務局：Tel 0467-61-0305  
Fax 0467-61-0315

## ほっと、一息：日頃の疲れを、温泉で癒してみませんか？

\* 中沢かつゆきは温泉コンサルタントでもあります \*



**定山溪温泉**：札幌から1時間ほどにある、「札幌の奥座敷」と呼ばれる定山溪温泉。その歴史は、修験僧・美泉定山がこの温泉の礎を築いたといわれ、その名から、「定山溪温泉」。大正期には、鉱山開発で賑わうようになっていきました。高度成長期にホテルが立ち並ぶようになり、温泉街を形成するようになりました。冬には、近くのスキー場を利用する宿泊客も増え、札幌からの距離と合わせて、賑わうようになっていましたが、近年は海外からの宿泊客を積極的に誘致しているようです。冬に訪れたとき、ダイヤモンドダストが輝いていました。もう一度行ってみたい温泉です。泉質は、「ナトリウム塩化物泉」。傷や皮膚病などにいいといわれています。定山溪温泉の源泉は56カ所、湧出量は毎分8,600ℓ、泉温は60度以上と高温泉です。雪の定山溪温泉も、また情緒豊かです。

<http://jozankei.jp/>